

アトピー対策「抗炎症外用薬と皮膚バリアスキンケア」

アトピー対策のポイントは、まず抗炎症外用薬（ステロイド/タクロリムス軟膏）を用いて、速やかに痒みと炎症を抑えること。その後、皮膚バリアスキンケアで痒みや炎症を繰り返さない状態を維持することです。海の森化粧品は、一時的に症状を抑える従来の保湿ケアとは違い、壊れた皮膚バリアを修復する皮膚バリアケアで、皮脂・汗分泌/ターンオーバーが正常に機能する皮膚環境をつくり、痒みや炎症などを繰り返さない肌へ導くのが特徴です。

●アトピー肌「慢性的に皮膚バリア機能が低下している」

皮膚には元々外からの刺激と水分喪失を防ぐ皮膚バリア（皮脂膜・角質層）が備わっていますが、アトピーの方の皮膚は、皮膚表面の皮脂膜が不十分で、角質層バリアが壊れているため、乾燥しやすく、外部刺激に対して非常に敏感な皮膚になっています。特に、バリアの要となる角質層バリアが壊れているため、皮膚内部の水分が蒸散し、皮膚表面が厚く硬く、ゴワゴワ・ガサガサ・ザラザラなどの症状が、また、紫外線や化粧品、医薬品、黄色ブドウ球菌、ダニ・ホコリなどのアレルゲンが皮膚内部に侵入することで抗原抗体反応が起こり、乾燥や湿疹・赤み・痒み・腫れなどの症状が現れます。

本来皮膚バリアは壊れても、自分の力（皮脂・汗分泌/ターンオーバー）で皮膚バリアを修復・維持できるようになっています。しかし、アトピーの方の皮膚では、日頃の洗顔剤や保湿化粧品などの繰り返しの使用により皮膚バリアを壊し続けた結果、肌力でのバリア修復が追い付かず、皮膚バリアが慢性的に壊れているため、アトピー症状がなかなかおさまらない状態になっています。

●従来のアトピースキンケア「一時的に症状を抑える一方、アトピー肌の悪化につながる」

皮膚科でのアトピー対応は2段階対処療法で、まず抗炎症外用薬（ステロイド/タクロリムス軟膏）で痒みや炎症を落ち着かせた後、保護用にヒルドイドやワセリンなどを処方します。基礎化粧品のアトピースキンケア対応も2段階対処療法で、はじめに化粧水に配合された水分と保湿剤を角質層へ浸透させ、次に、水分が逃げないように、皮膚表面を保湿化粧品の油分でフタします。同時に、炎症や痒みを抑制するための抗炎症剤や抗ヒスタミン剤、皮膚内部に侵入した黄色ブドウ球菌を殺菌したりするための殺菌剤を皮膚内部に浸透させ、アトピー症状の軽減を図ります。

何れの対応も、アトピー症状を一時的におさえるには問題ありませんが、長期使用は配合の合成界面活性剤などが常に皮膚バリアを壊し続けるため、なかなか健全な皮膚バリアを形成することができません。長期使用が、アトピー肌を長引かせていることに多くの方が気付いていません。

※ワセリンや植物油 100%などのオイル化粧品使用上の留意点

オイル化粧品を多量使用すると、剥がれ落ちる古い角質を皮膚表面に糊付けし、結果として肌力による正常なバリア形成を遅らせます。また、油分や糊付けされた古い角質を剥がすために、洗顔剤が必要になります。石鹸を含めた洗顔剤には、天然・合成を問わず合成界面活性剤が配合されているため、常にバリア破壊のリスクに曝されます。

●海の森化粧品「一時的に症状を抑えるのではなく、症状を繰り返さない肌に」

海の森化粧品には様々な植物成分が含有しています。特に皮膚バリア（特にバリアの要となる角質層バリア）の修復に必要なタイプ1のセラミド（リノール酸、天然ビタミンE含む）が含有し、角質層からの水分蒸散・異物侵入や、皮膚表面の菌増殖をストップします。また、皮膚表面を弱酸性の膜で保護します。

微量の油分で角質層バリアを修復できること、合成界面活性剤やアルコール、化学薬剤不使用であるため、皮膚バリアを壊さず、また肌力によるバリア修復を妨げません。時間はかかりますが*、肌自らの力で皮膚バリア修復するにつれ、潤いが保たれ、外からの刺激や異物侵入に強い皮膚バリアが形成・維持されるため、痒みや炎症を繰り返しにくくなっていくのが特徴です。

（※時間がかかるのは、肌力の一つ「ターンオーバー」が影響しているためです。詳細は別紙「海森水（髣水）の効果的な使用方法3ページ目、なぜ海の森スキンケアは、結果が出るまで時間がかかるのか」参照）。

抗炎症外用薬（ステロイド/タクロリムス軟膏）について「まず速やかに痒みと炎症を抑える」

アトピー対策では、掻かないことも大切です。掻くと、元々傷んでいる皮膚バリアを更に傷め、肌力によるバリア修復が追い付かず、痒みや炎症の悪化につながります。掻かないためには、ステロイドなどの抗炎症外用薬を用いて、速やかに痒みと炎症を抑えます。抗炎症外用薬は、長期使用しなければほとんど副作用が出ないことが確認されており、医師の指導の元、用量・用法を守れば、安心・安全に使用できます。特に、初期の炎症段階であれば、抗炎症外用薬の使用を、少量・短期間に抑えることができます。

